



2022年4月21日

各位

会社名 ブティックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 新村 祐三  
(コード番号 9272 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 管理本部 部長 小林 範士  
(TEL 03-6303-9431)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

ブティックス株式会社（東京都港区、代表取締役社長 新村祐三 以下「当社」といいます）は、2022年2月8日「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2022年3月期通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正理由

当社は、前回の業績予想策定時に、①商談型展示会事業において、緊急事態宣言の解除後は営業活動が正常化し、出展小間契約の獲得が想定以上に順調に推移していること、②M & A 仲介事業において、11月9日時点での業績予想には見込んでいなかった案件が順調に成約していることに加え、大型案件の成約が増加していることから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、過去最高を計上する見込みである旨、発表いたしました。

この度、M & A 仲介事業において、当事業年度内での成約が不確実であった複数の案件を3月末にかけて成約したことから、売上高が前回業績予想を更に上回る見込みです。

以上により、当社の**2022年3月期通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回業績予想を更に上回り、いずれも過去最高を計上する見込みです。また、当事業年度の業績を踏まえ、2023年3月期以降の中期経営計画の業績目標及び定性情報の一部については、5月10日公表予定の「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」においてアップデートいたします。**

なお、社内での損益管理方法の変更に伴い全社費用の配賦方法を変更しており、2021年3月期のセグメント情報は、2022年3月期の報告セグメントに基づき作成しております。

## 2. 業績予想

2022年3月期通期業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2022年2月8日)	1,960	452	452	289	57.52
今回発表予想 (B)	2,091	586	591	349	69.42
増減額 (B-A)	130	134	139	59	
増減率 (%)	6.6	29.7	30.8	20.7	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	1,277	281	292	198	39.79

(注) 当社は、2021年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり当期純利益」については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、当該株式分割後の発行株式数（自己株式を除く）により算出しております。

## 3. セグメントごとの見通し

セグメントごとの見通しは以下のとおりです。

### (1) 商談型展示会事業

商談型展示会事業においては、前回の業績予想のとおり、出展小間契約の獲得が順調に推移し、全出展小間数（\*）の約5割を占める「東京ケアウィーク '22」の開催を無事完了いたしました。オンライン展示会につきましても、前回の業績予想のとおり順調に推移しております。

以上により、2022年3月期通期の商談型展示会事業の業績は、出展小間契約は1,384小間（前事業年度比16.8%増、前回発表予想比0.3%増）、売上高776百万円（前事業年度比18.2%増、前回発表予想比7.4%増）、セグメント利益211百万円（前事業年度比22.6%増、前回発表予想比24.0%増）を見込んでおります。

(\*) 出展小間数：出展社に貸し出すために仕切られたスペースの単位

### (2) ハイブリッド展示会事業

ハイブリッド展示会事業は、オンライン展とリアル展をシームレスに融合させ、双方の強みを活かした、新発想のハイブリッド展示会である「DXPO」の開催・運営を行います。オンライン展の開設期間中（365日24時間）に並行してリアル展を年2回開催し、リアル展の会期前1ヵ月及び会期後2ヵ月は、オンライン展でも集中的にマッチングすることで、商談の量と質を高めつつ、かつ年間を通じて継続的なマッチングの機会を提供する新サービスです。9月より営業活動を本格化し、出展小間契約の獲得は順調に進捗しております。

当事業年度においては、ハイブリッド展示会は準備期間となるため、売上高の計上はございませんが、出展社募集活動をはじめとする先行投資として、人件費・採用費・販売促進費等を計上する予定です。

以上により、2022年3月期通期のハイブリッド展示会事業の業績は、セグメント損失66百万円（前回発表予想は74百万円の損失）を見込んでおります。

### (3) M & A 仲介事業

M & A 仲介事業においては、自社開発した「M & A 工程管理システム」による厳格な工程管理を行うことで、コンサルタント個人の経験や能力に依存しがちなM & Aの工程を「定型化」「可視化」し、コンサルタントを大量に採用した場合でも、案件進捗の確実性とスピードを担保することが可能となったことから、コンサルタントを大幅に増員し、案件の成約数増加に注力しております。この度、前回の業績予想策定時には、当事業年度内での成約が不確実であった複数の案件を、3月末にかけて成約したことから、売上高が前回業績予想を更に上回る見込みです。

以上により、2022年3月期通期のM & A 仲介事業の業績は、成約組数は129組（前事業年度比51.8%増、前回発表予想比3.2%増）、売上高1,308百万円（前事業年度比116.4%増、前回発表予想比5.7%増）、セグメント利益786百万円（前事業年度比123.2%増、前回発表予想比9.5%増）を見込んでおります。

以上の結果、当社の2022年3月期通期の業績の見通しは、売上高2,091百万円（前事業年度比63.6%増、前回発表予想比6.6%増）、営業利益は586百万円（前事業年度比108.4%増、前回発表予想比29.7%増）、調整後営業利益は646百万円（前事業年度比122.1%増、前回発表予想比26.5%増）、経常利益591百万円（前事業年度比102.6%増、前回発表予想比30.8%増）、当期純利益349百万円（前事業年度比75.9%増、前回発表予想比20.7%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想を達成した場合には、当事業年度において、2021年2月1日を割当日とする第15回新株予約権の行使条件（調整後営業利益500百万円）を満たすこととなります。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、実際の業績は上記の予想とは異なる場合があります。

#### 《本リリースに関するお問合せ》

ブティックス株式会社 管理本部 IR 担当

TEL : 03-6303-9431 (平日 9 時～18 時) Email : ir@btix.jp

以上